

本書の読み方

- 1 調査対象樹種は、造園材料として官公庁の検査に合格する品質及び規格のものを調査しました。
- 2 原則として、養成木を調査し、山採り樹木は畑に移植してから適切な日時を経過した良品のみ計上されています。
- 3 調査数には、いわゆる「造形仕立物」は含みません。
- 4 樹種の検索等は「検索の説明」をご覧ください。
- 5 単位は、コンテナ栽培品は鉢数、露地栽培品は本数（株数）です。
- 6 台風や干ばつ・寒さなどの気候変化による被害によっての影響を受ける出荷可能本数が減少する場合があります。
- 7 調達難易度は、各樹種・規格別の市場性を判断するもので、樹種ごとに「A～E」の記号で表示しています。その基準は次のとおりです。

調達難易度記号説明	
A	生産に余裕があり、十分に調達が可能。
B	昨年程度の需要であれば、調達が可能。
C	昨年程度の需要でも、調達にはやや困難が予想される。
D	品不足の為、調達には相当困難が予想される。
E	非常に品不足なので、設計の際には事前に確認が必要とされる。
無記入	産地や利用が特定地域に偏っているため、難易度を表示しておりません。

* 全国的な視野で調達難易度を判断しましたので、各地域別の状況とは必ずしも一致しない場合があります。

- 8 販売に流動性があり樹種や規格によっては、設計が集中し早めに完売する樹種があります。

尚、用語の定義や規格や品質については、(一財)日本緑化センター発行の「公共緑化樹木品質寸法規格基準(案)の解説」を参考にして下さい。

<http://www.jpgreen.or.jp/book/books/koukyouyou.html>